

令和7年度 施設管理運営事業評価票(令和6年度実施分)

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立国際・文化センター				
所在地	宝塚市南口2丁目14番1-3号				
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人宝塚市国際交流協会	指定期間	開始日	令和 3年 4月 1日
	所在地	宝塚市南口2丁目14番1-3号		終了日	令和 8年 3月 31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間 5年のうち 4年目	
施設設置目的	市民の国際交流活動の促進及び芸術文化の向上を図るため、宝塚市立国際・文化センターを設置する。				
主な実施事業	(1)市民の国際理解を深める諸事業に関する事。 (2)市内に在住する外国人に対する支援に関する事。 (3)国際交流ボランティア活動団体の活動の場の提供に関する事。 (4)国際交流に関する情報の発信に関する事。 (5)優れた生活文化に触れる場の提供に関する事。 (6)芸術文化の創作及び発表の場の提供に関する事。 (7)芸術文化に関する情報の発信に関する事。 (8)前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	人	25,000	21,513	25,000	28,126	28,000	30,299	28,000	32,702
b 利用件数	件	1,500	1,042	1,200	1,155	1,200	1,337	1,200	1,353
c 稼働率	%	35	31.3	33.9	34.4	35	37.5	35	38.9
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算
収入計	A	44,813	45,903	46,104	46,577
指定管理料		41,470	41,470	41,470	41,470
利用料収入	C	2,664	3,442	3,556	3,633
自主事業収入		0	0	0	0
その他		679	991	1,078	1,474
支出計	B	41,308	44,144	45,508	47,051
指定事業費		41,308	44,144	45,508	47,051
内、人件費	D	14,057	14,255	15,634	16,077
内、再委託料	E	3,634	3,941	4,202	4,773
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	3,505	1,759	596	-474
利用率比率	C/A	5.9 %	7.5 %	7.7 %	7.8 %
人件費率	D/B	34.0 %	32.3 %	34.4 %	34.2 %
再委託費比率	E/B	8.8 %	8.9 %	9.2 %	10.1 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	
------	--

4 評価

注)自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A A A	A A A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A A	A A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A A	A A
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A A	A A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	A A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B A	B A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A A A	A A A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
	②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A A
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A A A	A A A
事業運営		事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A A A	A A A
維持管理		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A A A	A A A
環境配慮		省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
広報活動		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
苦情等対応		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A A	A A
利用者アンケート等		利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A
利用状況		利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	A
《 総括 》		「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
③安定性		経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	令和6年度は市制70周年、海外姉妹2都市35・30周年の節目の年、兵庫芸術文化センターオーケストラのメンバーによる室内楽コンサートをベガ・ホールで開催。両市区長からビデオメッセージを頂き周年事業に相応しい事業となり継続のための地道な努力の大切さを実感した。施設の利用は新しい類似施設への利用者の移行もあるなか、利便性の高い当館を利用いただきコロナ前に戻って令和5年度の実績を超える利用となった。			
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	成果指標である利用人数、利用件数、稼働率は、2年連続で令和5年度を上回っており、安定した施設管理を行っていることが分かる。また外国人市民支援事業としての外国人相談室の開設と日本語学習指導を年間を通して継続して実施していること、更に国際姉妹都市提携の周年事業として記念コンサートの開催のほか、国際理解講演会など、TIFAならではの独自性に富んだ事業を実施されたことは十分に評価できる。 一方で、各種報告書等については、提出後に数値の誤りや内容の不備等を訂正するケースがあったので、提出の前に十分に点検確認を行うなど改善に努めていただきたい。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	S	=	協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	=	協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	=	協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	=	協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	=	評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	=	評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	=	自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。